

このたびは三菱照明器具をお買上げ
いただきありがとうございました。

LED 屋外ライティングスケープ用アーム形名 **EL-X0061/H** **EL-X0061/W****取扱説明書**

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

施工者さまへ

- 施工の前に、この「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。



絶対に行わないで
ください。



必ず指示に従い
行ってください。

 警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに 結びつく可能性があるもの	
 禁止	引火する危険のある雰囲気では使わない。 (ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性 粉じんのある所で使わない) (火災の原因)
	器具取付けの際は電線を挟まない。 (絶縁不良により感電・火災の原因)
	配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。 (絶縁破壊により感電・火災の原因)
 禁止	適合器具以外使用しない。 (器具落下の原因)
	器具の取付けは質量に耐える所に取付ける。 (器具落下の原因)
 厳守	施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術 基準・内線規程に従って行う。

 注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または 家屋・家財などの損害に結びつくもの	
 禁止	高温 (35℃を超える)、粉じん、油煙の多い場所、 強い振動・衝撃のある場所で使わない。 (落下・感電・火災の原因)
	塩害地域、腐食性ガスの発生する場所で使わない。 (腐食による落下の原因)
	狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して 使う場合は、放熱を妨げない。 (器具が過熱して火災の原因)
	器具を密集して取付けない。(100mm 以上離す) (器具の温度が高くなり火災の原因)
 禁止	風呂場など湿気の多い場所や水の浸る場所で 使わない。(火災・感電の原因)
	人が容易に触れる恐れのある場所で使わない。 (感電、やけど、アーム変形による落下の原因)
	器具質量および風圧荷重に十分耐えられるよう、 取付部の強度を確保する。(落下の原因)
 厳守	取付ボルトは、地震発生や強い衝撃を受けた場合 など、器具が揺れた場合でも構造物から外れない ように確実に固定する。(落下の原因)
	風速 60m/s を超える風を受けるおそれのある 場所で使わない。(落下の原因)

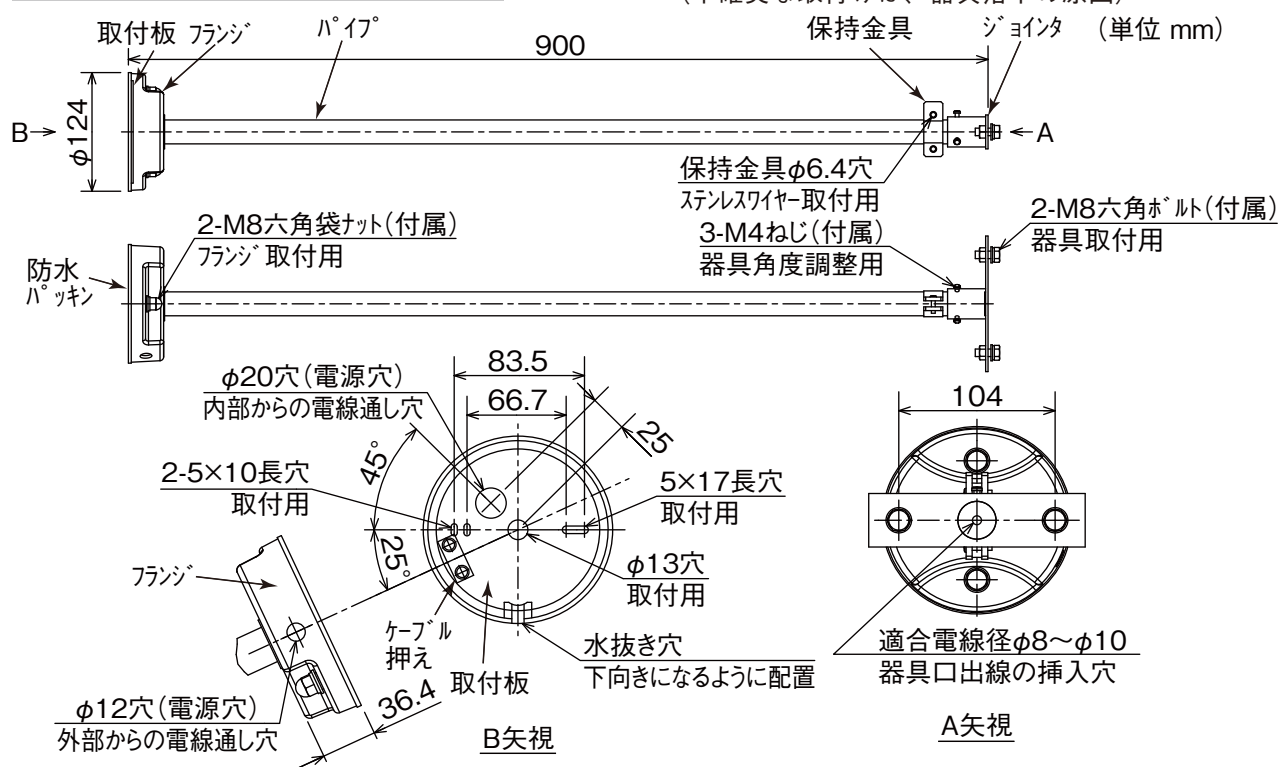
お客さまへ

ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになった後、
大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

 警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに 結びつく可能性があるもの	
 禁止	器具の改造や指定部品以外の交換はしない。 (火災・感電・落下の原因)
	器具やランプを布や紙などで覆わない。 (可燃物をかぶせて使うと火災の原因)
 禁止	器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。 (火災・感電の原因)

 注意	
 禁止	お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士の 資格が必要です。(火災・感電の原因)
	器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置か ない。(過熱して火災の原因)
 厳守	被照射面からの距離は照明器具の説明書に従う。 (火災の原因)
	明るく安全にご使用いただくために半年に 1 回の保 守・点検を行う。

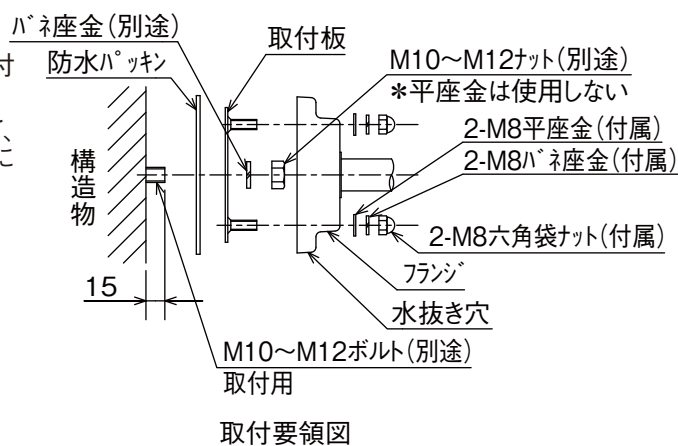


1 防水パッキンと取付板の取付け

- (1) 構造物に直接取付ける場合、構造物に M10 ～ M12 の取付ボルトを 1 本設置する。取付ボルトの出代は 15mm とする。
- (2) M10 ～ M12 ナット (別途) とバネ座金 (別途) を使用して、防水パッキンと取付板を共締めにて構造物の取付面に確実に固定する。ただし、平座金は使用しない。

2 ライティングスケープの取付け

- (1) ライティングスケープの口出線をジョイントの器具口出線の挿入穴から引き込む。
- (2) ライティングスケープを器具取付ボルト (M8 六角ボルト、付属) 2 本を使用して、ジョイントに確実に固定する。
- (3) 必要に応じてライティングスケープの点灯方向を調整した後、器具角度調整用 M4 ねじ (付属) 3 本を確実に固定する。



3 ステンレスワイヤーの取付け

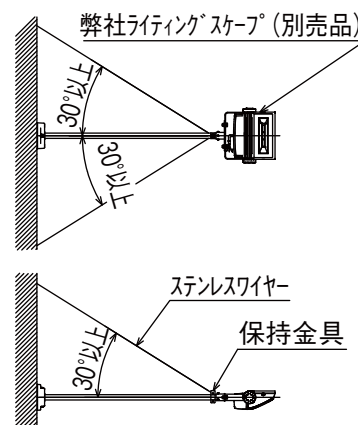
- (1) 保持金具のステンレスワイヤー取付用穴 (φ6.4) を使用して、必ずステンレスワイヤー径φ2～φ3で両側から保持する。ステンレスワイヤーの端部は素線が切れないように施工し、各部のねじをしっかりと締付ける。このとき、ステンレスワイヤーとパイプの角度は 30 度以上とする。

4 結線

- (1) 電源線をアームに引き込む。
 - ① 構造物の内部から電源線を引き込む場合、取付板の電線通し穴 (φ20) から引き込む。
 - ② 構造物の外部から電源線を引き込む場合、フランジの側面にある電線通し穴 (φ12) から引き込んで、ケーブル押えで電源線を固定する。
- (2) 電源線とライティングスケープの口出線を確実に固定する。
弊社ライティングスケープの取扱説明書をよく読み、確実にを行う。

5 フランジの取付け

- (1) フランジは水抜き穴を必ず下向きにして、M8 六角袋ナット (付属) 2 本を使用して確実に取付ける。
- (2) 構造物と防水パッキンとのすき間および電線通し穴を防水シール材でコーキングする。水抜き穴はコーキングしない。



ステンレスワイヤーの施工図